

## ◎ 「東京インターナショナル・ギフト・ショー春 2020」開催

事務局



会期： 2020年2月5日(水)・6日(木)・7日(金)  
時間： 10:00～18:00(最終日は17:00まで)  
会場： 東京ビックサイト 西・南・青海展示棟  
主催： 株式会社ビジネスガイド社

我が国最大のパーソナルギフトと生活雑貨の国際見本市「第89回東京インターナショナル・ギフト・ショー春2020」が、約3,000社で30万人の流通業者を集めて、東京ビックサイト3会場を使用して開催されました。

今回の統一テーマは、「心地よい暮らしの提案 PART II」です。

今回は、新型肺炎 WHO 緊急事態宣言が出された直後、「新型コロナウイルス」による影響で、中国を中心に外国人が少なく、出展を見合わせたブースもありました。又、マスクをした人が目立ち、以前とは違った雰囲気の中での開催となりました。

西展示棟、南展示棟、青海展示棟と、それぞれテーマに沿って出展者側は自社の目指す方向で商品説明、紹介をし、それにより客の反応を得ようとしていました。一方、客側も新しい商材、市場の動向を掴もうという、お互いの熱気が溢れているのは感じられました。又、各セミナー会場も熱心な客でいっぱいでした。

青海展示棟の「キッチン&テーブルコーディネートフェア」には、JAPPI 会員企業、(株)アイトー、(株)シナノインターナショナルコマース、(株)丸利玉樹利喜蔵商店、(株)山加商店の4社が出展され、事務局からは初日の5日(水)に取材に行きました。

各社共、定番商品と新商品、新展開、新販路に対し、テーマごとに展示されていました。又、陳列什器も木目調で自然、環境を意識しているようにみられました。

中でも注目されていたのが、(株)山加商店ら4社で共同開発した、ブラックライトを当てるとQRコードが現れる新転写紙を使ったマグでした。又、各社キャラクター商品への力を入れた取り組み方で、キャラクター商品の人気を再認識させられました。

その他、県や地方自治体の統合ブースでの地域活性化の新しい試みや、単独アイテムの提案型ブース等、とても興味深く見ることができました。

<例>・鯖江商品(眼鏡フレームはブランドとして定着しているが、新たに時計用のベルトや越前塗で作った万年筆のボディや万年筆ケース等)

・骨壺のみの提案ブース、能作の錫商品、関の刃物等限定した素材のブース等々

### 今回の結果

総来場者数:270,062人[海外来場者3,382人含む]

総出展社数:3,053社 [内、海外16の国と地域301社]

来場者数:181,584人[海外来場者2,856人含む]※東京ギフト・ショーのみ。同時開催展含まず。

出展社数:2,132社 [内、海外16の国と地域284社]同時開催展含まず。

(株)ビジネスガイド社より

【株式会社アイトー】



人気の「レオ・レオニ」



新キャラクター商品「ひつじのショーン」 6月より新発売



定番商品



【株式会社シナノインターナショナルコマース】



エレガンスエンボスシリーズ



ソーサーの絵柄がカップ(鏡面仕上)に写るカップ&ソーサー



アニマルフェイス

【株式会社丸利玉樹利喜蔵商店】



木の什器にテーマごとに陳列された商品



【株式会社山加商店】



お馴染みのスヌーピーとムーミン



Finlayson 創業 200 周年コラボ商品

四社で共同開発した新しい転写紙  
マグカップにブラックライトを当てると  
QRコードが光って現れる。

